

「第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画」最終案 パブリックコメント意見一覧

意見数：5名（うちWeb利用5名）、7件

番号	箇所	意見等 (原文のまま)	意見への対応	計画書への 反映
1	50ページ、79ページ、98ページ、（41ページ） ・城下町回遊性向上のための方策検討事業の事業内容について	「上野城エリアと城下町エリアを繋ぐ南北通路において、複数の導線を比較検討するための可能性調査を行うとともに、調査結果に基づいた整備を行う。」を「上野城エリアと城下町エリアを繋ぐ南北通路において、複数の導線を比較検討するための可能性調査及び城下町エリアの核となるランドマークの設置検討調査を行うとともに、調査結果に基づいた整備を行う。」としてはどうでしょうか。 〔その理由〕 単に導線を比較検討して来訪者にお知らせするだけでは実際の人の動きにはつながらないと思いますので、相應の事業費がかかるとしても城下町エリアの中央部（たとえば銀座駐車場の位置）に来訪者がその前で写真を撮りたくなるような魅力的なランドマークの整備を検討する必要があると考えます。人を惹きつけるランドマークがあってこそ導線が生きてくるものではないでしょうか。ランドマークのイメージとしては、たとえば兵庫県豊岡市出石町の時計台「辰鼓楼（しんころう）」、埼玉県川越市の「時の鐘（鐘つき堂）」を挙げることができます。 辰鼓楼（しんころう） https://daytrip-izushi.jp/about/shinkoro/ 時の鐘（鐘つき堂） https://koedo.or.jp/spot_001/	「城下町回遊性向上のための方策検討事業」については、将来の通路（道路）整備を進めるための調査を行うためのものです。ご意見をいただいた城下町エリアのランドマーク設置検討は、まちなか回遊を進めるうえで重要なポイントになりますので、民間事業者様の動向等も注視しながら検討を進めていく必要があります。いただいたご意見は、今後の活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
2	中心市街地活性化の目標について	伊賀市へ来られる観光客のリピーターがほとんど無いと思います。忍者を身に来られても食事場所がまず見当たらないのと、土産物を購入できるお店がお城周辺に見当たりません。お城下の駐車場からお城へ行く道にまず土産物屋の店舗が必要です。伊賀にはたくさんの和菓子店がありますので一同に展示できるような共同店舗を市の方で用意をすればいかがでしょうか？	飲食店や土産物店事業の出店支援については、「まちなか空き家・空き店舗出店支援事業」や「伊賀市起業・経営革新促進事業」等で取り組むこととしています。共同店舗の件については、営利事業のため市が主体で取り組むことは難しいですが、民間事業者様の出店意向がありましたら市も積極的に支援を行っていきます。いただいたご意見は、今後の活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	記載あり
3	全体を拝見して	あらゆる角度から、細かく調査、考察、課題と掲げていただきましたが、読み終えてみると、こんなに分析し尽くしたところで本当に目論見どおりになるんだろうか、と心配してしまいます。魅力あるものにするためには、もっと新しい視点がいるように思います。なんか、既存のものを凝り固まった意識で、資料作成のためになんとか文章を羅列しているだけのような、、、気がしました。魅力ある町って、、、これであるのでしょうか。	本計画は、中心市街地から市全体の活性化へとつなげるため、まちなか居住の推進、観光・商業の活性化などに関する事業を官・民・地域が一体となって推進していくものです。もっと新しい視点が必要ということに関しては、「にぎわい忍者回廊整備事業」などにぎわいに繋がる新規事業とあわせて、住みよいまちづくりにつながる既存の事業も盛り込んでいます。計画期間中も引き続き、民間事業者様、地域住民様等と連携しながら、魅力ある中心市街地にしていくための協議・検討を行っていきます。	—
4	全般	大変素晴らしい、よく練られた計画案だと思います。分析内容や協議（意見集約）経過もよいものだと思います。あとはいかに市民のモチベーションを上げるか、またメディアに取り上げられるか、SNSでバズるか、という感じに思えます。これから（伊賀市は財政的に）コンパクトシティの実現を考えなくてはならないため中心市街の魅力を高めることは必須だと思います。	市民意識の醸成は市でも重点課題として認識しており、本計画においても、基本方針として「伊賀の強みを誇りとして継承するまちづくり」を掲げ、推進していくこととしています。	記載あり

番号	箇所	意見等 (原文のまま)	意見への対応	計画書への 反映
5	97ページ	中心市街地の魅力を感じるのは市民自身と観光客となりますが、観光客にとって魅力的な期間限定イベント的な(大都市からの)鉄道・バスルートの設定などまず話題になるきっかけづくりがあると良いかもしれません。	中心市街地の交通施策については、民間事業者様とも連携しながら、引き続き検討を進めていきます。	記載あり
6	126ページ	既存の商業施設として大規模店舗が含まれていますが実際は(人の動きが多い)アピタやマックスバリュなど計画と乖離した利用形態になっていてこれまでもこれからもリンクした感じにならない印象です。工夫が必要と思います。	既存の商業施設については、内閣府地方創生推進事務局が作成している「中心市街地活性化基本計画認定申請マニュアル」に基づき、既存ストックを有効活用していくという観点から記載しています。中心市街地の商業の活性化に向け、引き続き民間事業者様、地域住民様等と連携しながら、協議・検討を行っていきます。	—
7	「第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画」最終案	パブリックコメントを募集しておきながら、資料がPDF187ページって、市民に読ませる気がないでしょ。市の意見をそのまま通そうとする意図が見えます。少なくとも、数枚の資料で要点を結論から伝えてくれないと、市政に対して市民が関心を持たなくなります。市の中で誰か「この資料じゃ伝わりにくい」という声が上がらなかったのでしょうか。それを承認した課長職や、最終的な権限は市長かもしれませんが、全く市を良くしようという気持ち伝わってきません。	最終案が完成しましたら、本冊とあわせて概要版も策定する予定です。今後はパブリックコメントの段階でも市民の皆様にも読んでもらいたいよう、概要版による周知も行いたいと思います。	—